



## 専務理事のグローバル政策アジェンダ

新たな現実への対処

2015年10月

**加盟国は、急激に変化しかつ不確実な世界に直面している。**回復が続くなか米国は、金利を引き上げる姿勢を見せている。成長のリバランス（再調整）の過程にある中国の減速は予測以上に大きな影響を世界経済に及ぼしている。一次産品生産国は長期にわたった商品価格の上昇サイクルの最終局面に直面している。これらの変化は必要であるが、特に成長の見通しが落ち込んでいる新興市場国及び低所得途上国に対し大きな課題を突きつけている。

**政策担当者は、困難な政策のトレードオフへと取り組んでいる。**政策余力に限りがあり、新しい現実に適応する必要がある中で、需要及び現在の経済活動へのサポート、タイトな金融環境での金融リスクの軽減、成長活性化に必要な構造改革の早期実施に対し、それぞれどれくらいの比重をかけるべきであろうか？

**政策は、各国それぞれの事情を反映しかつ新たな多国間主義へと融合されていく必要がある。**今日の成長を支え、経済をより頑強にするための投資を図るとともに、金融の安定性を確保し、持続可能かつ包摂的な成長に不可欠な構造改革を実施するためには、互いを補いかつ強めていくような政策が必要になる。政策には各加盟国の事情が反映される一方、各国間で首尾一貫したものでなければならない。需要の置き換えるのではなく創造、そして市場の健全性を強化し、構造改革を遅滞無く実行していく必要がある。グローバル金融のセーフティネット、貿易、気候変動、国際課税、持続可能な開発目標、及び人口動態の変化と人口の（地理的な）移動といった分野での各国および各機関の協力が極めて重要である。

**IMFはこのような状況に直面している加盟国をサポートする。**IMF加盟国は全世界に存在し、IMFは各加盟国及び世界レベルで成長と経済の安定性に関する問題に対処する責務を担う。各加盟国を最も効果的に支援するため、IMFはこの新たな「AIM（目標）」の達成のため、以下の三点を優先課題として重視していく。

- **機敏さ (Agility)**。一段とボラティリティが上昇しかつタイトな金融環境への対応、そしてマクロ構造改革の効果的な遂行のための政策アドバイスにより焦点をあてるとともに金融支援の必要な国へ迅速なIMF金融支援を実施していく。また、技術支援及び研修の実施は、オンラインツールの活用によってより強化されていく。
- **統合 (Integration)**。マクロ政策が直面するトレードオフの増加に対し、IMFは部門横断的に政策アドバイスをまとめ、優先課題の変化に対応し、グローバル、地域、二国間の各レベルにおけるセーフティネットの統合を促進し、サーベイランス（政策監視）と能力開発の相乗効果のより適切な活用によって加盟国を支援していく。
- **各加盟国の固有事情への考慮 (Member-Focused)**。政策課題が急激に変化し、かつ政策アドバイスがより各加盟国固有の事情を考慮していく必要がある中、IMFは加盟国と関係を深め、保有する知識を加盟国とより共有していくとともに、政策担当者へのより迅速なフィードバックを図っていく。

**IMFは、その中核的な業務の改善へと引き続き努める。**サーベイランス、IMF融資及び能力開発というIMFの中核的な業務の改善に加え、現下の世界環境と政策対応の変化に対応すべく、知的レベルと文化の多様化を推進していく。加盟国へのサービスの一層の改善のためには、十分な資金、人的、予算、及び技術によってIMFの活動を支えていく必要がある。